

27文科初第1621号  
平成28年3月29日

各都道府県・指定都市教育委員会教育長  
各都道府県知事  
附属学校を置く各国立大学法人の長  
構造改革特別区域法第12条第1項の  
認定を受けた各地方公共団体の長  
厚生労働省医政局長  
厚生労働省社会・援護局長

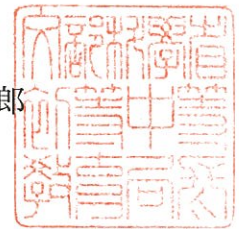
殿

文部科学省生涯学習政策局長  
有松育子



(印影印刷)

文部科学省初等中等教育局長  
小松親次郎



(印影印刷)

### 海外修学旅行等の安全確保について（通知）

海外修学旅行等における安全確保の徹底については、平成17年6月30日付け17初国教第40号「海外修学旅行の安全確保について（通知）」及び平成24年9月25日付け24文科初第705号「海外修学旅行の安全確保について（通知）」により通知しましたが、今後の取扱いについては、平成17年6月30日付け通知及び平成24年9月25日付け通知を廃止し、本通知により、下記のとおりとします。

貴職におかれては、下記内容を十分に御了知の上、海外修学旅行等の安全確保及びそのための手続に遺漏のないよう取扱い願います。

また、貴管下の市町村教育委員会及び学校（専修学校・各種学校を含む。以下同じ。）に対して、周知願います。

### 記

#### 1. 海外修学旅行等の実施に関する通報について

##### （1）提出書類について

海外修学旅行等を実施する場合、外務本省及び関係在外公館における援護活動をより円滑にするため、外務省所定の様式に必要事項を記入し、出発日の30日前までに外務省及び文部科学省の担当部局に提出すること。

なお、学校の行事としての海外旅行（海外研修旅行を含む。ただし、留学は除く。）を行う場合も同様とする。

##### （2）参加者名簿の取扱いについて

参加者名簿は、大規模事故の発生時等の場合に提出することとしていましたが、平成27年12月18日付け「海外渡航時の安全確保に関する緊急連絡体制構築等への協力依頼（通知）」を踏まえ、今後、文部科学省へは、文部科学省の担当部局から求めがあった場合に提出すること。

(3) 旅行計画等を変更した場合の取扱いについて

外務省及び文部科学省の担当部局に提出した書類の記載内容に変更が生じた場合は、修正箇所を明記の上、速やかに再度外務省及び文部科学省の担当部局に届け出ること。

2. 安全確保の徹底について

各修学旅行等実施校におかれては、海外修学旅行先の決定に当たっては外務省の海外安全情報（海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>参照）や報道をはじめとする各種最新の情報を参考に、生徒の安全確保のための慎重な検討を行うこと。

また、修学旅行等出発前には必ずこれら最新の参考情報を改めて確認し、必要に応じて中止・延期・旅行先の変更等、旅行計画の見直しを図り柔軟に対応すること。

さらに、各実施校におかれては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録を奨励すること。引率者に加え、可能な限り生徒自身による登録が望ましい。

（たびレジホームページ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>）

【本件担当】

文部科学省

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

＜専修学校・各種学校について＞

生涯学習政策局生涯学習推進課

専修学校教育振興室専修学校第一係

TEL：03-5253-4111（内線 2915,2939）

FAX：03-6734-3715

＜小・中・高等学校等について＞

初等中等教育局国際教育課

国際理解教育係

TEL：03-5253-4111（内線 3562,3135）

FAX：03-6734-3738

外務省領事局領事サービス室

〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1

TEL：03-3580-3311（内線 4896）

FAX：03-5501-8161

(別添様式)

第 号  
平成 年 月 日

外務省領事局長 殿

県教育委員会教育長  
( 市教育委員会教育長 )  
( 県 知 事 )  
( 大 学 長 )

海外修学旅行の実施について (依頼)

今般、管下の 県立 高等学校 ( 市立 高等学校、 県私立 高等学校、 大学附属 高等学校 ) ( 年生約 人 ) が学校教育活動の一環として別添旅行日程等により、 国へ旅行することとなりましたので、事前の情報提供に格段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

(別添)

1. 外務省宛提出書式 (別添 1 - 2 )
2. 日程表

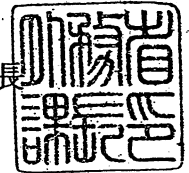
(注) 写しを、専修学校・各種学校については生涯学習政策局生涯学習推進課宛、小・中・高等学校等については初等中等教育局国際教育課宛に提出すること

領安第7181号

平成17年6月22日

文部科学省初等中等教育局  
国際教育課長 殿

外務省領事局海外邦人安全課長



### 海外修学旅行等における安全対策（周知依頼）

海外修学旅行に関しては、平成元年文初高第53号及び同第75号並びに平成16年往信領安第9379号に基づき、当省として安全確保のための措置を講じてきています。

今般、海外修学旅行中、万一不測の事態が発生した場合に、外務本省及び関係在外公館における援護活動をより円滑にする為、提出書類の定型化等、下記のとおり取扱いを変更することと致したく、本件変更につき、関係機関へ周知徹底を図ると共に、教育委員会・都道府県等を通じ管轄下の全中・高等学校及び専門学校に対し別添資料を送付頂きたく、ご協力願います。

#### 記

#### 1. 提出書類

- (1) 海外修学旅行を実施する場合は、万一事件・事故が発生した場合に備え、教育委員会・都道府県等から外務省領事局長に対し「海外修学旅行の実施について（通報）」を提出するよう、貴方よりご指導願います。

右通報に添付する提出書類を、別添 1－2 の通り定型化致しましたので、右確認の上、同書式の使用を周知徹底願います。 提出書類は、同書式と日程表となります。

- (2) 教育委員会・都道府県等が各学校から提出書類を受領した際は、本件提出書式に記載漏れがないこと、及び提出書類が全て整っていることを確認の上、外務省に送付するよう、貴方よりご指導願います。
- (3) 当方より在外公館に対し修学旅行の実施を事前連絡するため、遅くとも修学旅行出発日の 30 日前までには書類を外務省に提出して頂く必要があるので、右併せ周知徹底願います。

## 2. 安全確保

- (1) 貴方より、教育委員会・都道府県等を通じ、各修学旅行実施校に対し、海外修学旅行先の決定にあたっては外務省の渡航情報（海外安全ホームページ <http://www.mofa.go.jp/anzen/>参照）を参考に生徒の安全確保のための慎重な検討を行うこと、及び修学旅行出発前には必ず同ホームページの渡航情報を確認するよう、ご指導願います。
- (2) 外務省では、本件提出書類に基づく旅行計画を関係在外公館に通報し、万一の事態に備え、在外公館において、迅速且つ適切な対応が出来るよう準備致します。

危険情報の発出地域、または在外公館から旅行の実施について特に注意喚起があった地域への修学旅行実施校に対しては、外務省から個別に情報提供を行います。

また、外務省海外安全相談センター（電話：03-5501-8162）においても、海外での安全に関する相談を受け付けます。

付属添付

## 学校送付用資料

1. 海外修学旅行実施校へのご案内（別添 1－1）  
外務省宛提出書式及び記入例（別添 1－2）
2. 海外安全情報の入手方法（別添 2）
3. 海外修学旅行における安全対策（緊急連絡体制について）（別添 3）
4. 海外旅行傷害保険への加入（別添 4）

## 海外修学旅行実施校へのご案内

平成 17 年 6 月  
外務省領事局海外邦人安全課  
海外安全相談センター

### 1. 外務省宛提出書類

海外修学旅行中、万一不測の事態が発生した場合、外務本省及び在外公館が円滑に援護活動を行えるよう以下の書類を教育委員会・都道府県等を通じて外務省に提出してください。

(1) 外務省宛提出書式 (別添 1 - 2)

記入例を参考に全ての項目を記入してください。

記載漏れがない様に十分注意してください。

(2) 日程表

日程表は取扱旅行会社作成の既存のもので可。

この他に、ホームステイ先一覧 (該当する場合のみ)

※ホームステイの場合で、資料提出時までに参加生徒全員の宿泊先が決定しない場合は引率教員の宿泊先を必ず記載してください。

なお、上記書類は A 4 判片面クリップ止めにて送付してください (A 4 判以外の用紙、ホッチキス止め、両面刷りによる提出は避けてください)。

また、提出書類は遅くとも修学旅行出発日の 30 日前までに外務省に接到するよう、余裕をもって教育委員会・都道府県等に提出してください。

### 2. 海外修学旅行の安全対策

(1) 海外修学旅行先の決定にあたっては、外務省の海外安全ホームページ (<http://www.mofa.go.jp/anzen/>) の渡航情報を参考に生徒の安全確保のための慎重な検討を行うと共に、修学旅行出発前には必ず同ホームページを確認してください。

また、外務省海外安全相談センターにおいても、海外での安全に関する相談を受け付けています (別添 2 参照)。

(2) 海外修学旅行における安全対策のために、緊急連絡体制表を作成し、関係者間で周知徹底してください。また、万一の事件・事故に備え、参加者名簿を事前に作成してください (別添 3 参照)。

(3) 万一の事態に備え、参加者全員が適切かつ充実した海外旅行傷害保険に加入してください (別添 4 参照)。

# 外務省宛提出書式

(別添1-2)

	記 入 欄	備 考
1 行き先		
2 経由地(乗り継ぎ地)		
3 期間		
4 参加人数	合計 人(生徒 人、引率教員 人)	
5 学校名		
6 学校:住所	〒	
7 学校:電話番号		
8 学校:FAX番号		
9 学校:連絡責任者氏名		
10 学校:夜間緊急連絡先		
11 フライト番号:往路		
12 フライト番号:復路		
13 フライト番号:その他		
14 取扱旅行会社名		
15 旅行会社:電話番号		
16 旅行会社:担当者		
17 現地代理店		
18 保険会社名		
19 保険会社:電話番号		
20 現地宿泊先1 月 日( ) ~ 月 日( )		
21 現地宿泊先2 月 日( ) ~ 月 日( )		
22 現地宿泊先3 月 日( ) ~ 月 日( )		
23 現地宿泊先4 月 日( ) ~ 月 日( )		



# 外務省宛提出書式

(別添1-2)

(記入例)

	記 入 欄		備 考
1	行き先	オーストラリア(シドニー、ブリスベン)	※日程表別添
2	経由地(乗り継ぎ地)	なし(直行便を利用) ※ <u>経由地で市内観光等をする場合は行き先に含めることとする</u>	
3	期間	2005年6月1日(水)～8日(水)	
4	参加人数	合計226人(生徒213人、引率教員13人)	
5	学校名	都立外務高等学校	
6	学校:住所	〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1	
7	学校:電話番号	03-XXXX-XXXX	
8	学校:FAX番号	03-XXXX-XXXX	
9	学校:連絡責任者氏名	外務 太郎(校長)	
10	学校:夜間緊急連絡先	090-XXXX-XXXX(校長携帯) 03-XXXX-XXXX(校長自宅)	
11	フライト番号:往路	AB123便(成田→ブリスベン)	
12	フライト番号:復路	AB345便(シドニー→成田)	
13	フライト番号:その他	AB6789便(ブリスベン→シドニー)	
14	取扱旅行会社名	外務旅行	
15	旅行会社:電話番号	03-XXXX-XXXX	
16	旅行会社:担当者	外務 花子	
17	現地代理店	外務旅行ブリスベン支店 12 ABC Avenue, Brisbane, Queensland Tel: (61-7)XXXX-XXXX Fax: (61-7)XXXX-XXXX	
18	保険会社名	外務損害保険株式会社(※代理店は不可)	
19	保険会社:電話番号	(代)03-XXXX-XXXX	
20	現地宿泊先1 6月2日(木)～6月6日(月)	ABC Hotel 12 ABC St. Brisbane, Queensland, 4000 Australia Tel: (67-1)XXXX-XXXX	・6/2は生徒・引率教員全員が宿泊 ・6/3～6は生徒はホームステイ、引率教員は左記ホテルに宿泊 ・生徒ステイ先は別添
21	現地宿泊先2 6月7日(火)～ 月 日( )	XYZ Hotel 52 XYZ St. Sydney, N.S.W 2000, Australia Tel: (61-2)XXXX-XXXX	・生徒・引率教員全員が宿泊
22	※ホームステイの場合で、本資料提出時までには生徒のステイ先が未定の場合引率教員の滞在先を必ず記載すること		
23	現地宿泊先4 月 日( )～ 月 日( )		

## 海外安全情報の入手方法

平成 17 年 6 月  
外務省領事局海外邦人安全課  
海外安全相談センター

近年、海外に渡航する日本人は、年間1,700万人を超えています。の中には、海外へ研修旅行を行う国内の教育機関の関係者も多数含まれています。渡航者数の増加に伴い、事件・事故に巻き込まれる日本人も増えており、また、日本人が犯罪の加害者となるケースも増加傾向にあります。このように、日本人の海外における安全対策が大きな課題となっている中、国民一人一人が、「自分の身は自分で守る」という意識を持って事前に海外安全情報の収集に努め、適切な安全対策を講じることが重要です。

### 1. 外務省 海外安全ホームページ (<http://www.mofa.go.jp/anzen/>)

外務省が発出する国・地域の渡航情報（危険情報、スポット情報、安全対策基礎データ、テロ概要）や複数の国を対象とした広域情報など、海外渡航の際に必要な最新情報を掲載しています。また、海外で日本人が巻き込まれ易い事件・事故と対策を紹介する「海外邦人事件簿」や、犯罪の手口などを映像で見せる「海外安全劇場」などの役立つ情報も豊富に掲載しています。

### 2. 海外安全相談センター

海外における治安情勢、トラブル防止対策等に関する情報を提供しています。窓口及び電話による相談・情報の提供の他、各種安全対策パンフレットの配布等を行います。

外務省 海外安全相談センター

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

☎(03)5501-8162

### 3. 海外安全情報FAXサービス

国別・地域別の治安情勢、主な犯罪手口、風俗習慣等の留意事項や緊急時連絡先等の海外安全情報を通話料のみで、お手元のFAX機から手軽に取り出せるサービスです。世界180以上の国・地域の情報があり、24時間提供しています。

FAX: 0570-023300

### 4. 海外安全情報タッチビジョン

TV画面に直接触れるタッチパネル方式で、約120の国・地域の安全情報を閲覧でき、検索した情報を印刷することも出来ます。成田空港ターミナルビル(第1ビル4階、第2ビル3階の各出国ロビーに計2台)、関西空港ターミナルビル(4階国際線出発ロビーに1台)に設置されています。

## 海外修学旅行における安全対策

### (緊急連絡体制について)

平成 17 年 6 月  
外務省領事局海外邦人安全課  
海外安全相談センター

1. 海外での修学旅行の実施にあたり、万一の事件・事故に備え、事前に緊急連絡体制表を作成し、関係者間で周知徹底する必要があります。緊急連絡体制表には、次の連絡先等の記載が必要です。

(1) 学校連絡先

(イ) 住所、電話番号

(ロ) 留守校の連絡責任者氏名及び夜間連絡先(自宅)

(2) 旅行会社及び現地エージェント連絡先

(イ) 住所、電話番号、夜間連絡先

(ロ) 旅行中の担当者氏名

(3) 旅行先・宿泊先

(イ) 住所、電話番号

(ロ) 旅行団責任者氏名

(ハ) ホームステイを実施する場合

代表者(引率教員等)氏名及び連絡先は事前に生徒全員に周知徹底しておく。また全生徒ホームステイ先を網羅した緊急連絡網を作成し、少なくとも引率教員及び留守校は全生徒のホームステイ先を把握しておく必要がある。

(4) 旅行先の日本国大使館・総領事館の住所及び電話番号

海外安全ホームページ(<http://www.mofa.go.jp/anzen/>)を参照してください。

(参考) 外務省海外邦人安全課: (代表) 03-3580-3311 (内線 2857 他)

なお、休日・夜間緊急時は代表電話にかけ音声ガイダンスに従ってください。

2. 旅行引率教員及び参加生徒全員の名簿は必ず作成し、大規模事故の発生時には、学校から外務省に速やかに提出できるようにしてください。なお、参加者名簿には、氏名(漢字及びアルファベット)、生年月日、性別を最低限記載してください。

### 3. 留意事項

(1) 旅行引率教員及び参加生徒全員は、万一の事態に備え、瞬時に関係者と連絡が取れるよう、上記1. (3)(イ)及び(4)を承知している必要がありますので周知徹底してください。また、現地での電話のかけ方も参加者全員が承知している必要があります。

(2) 万一事件・事故が発生した場合には、引率教員は、学校に連絡すると同時に、必要に応じて、現地エージェント及び最寄りの大使館・総領事館に連絡してください。

## 海外旅行傷害保険への加入

平成 17 年 6 月  
外務省領事局海外邦人安全課  
海外安全相談センター

昭和63年3月に上海において発生した修学旅行団を巻き込んだ列車事故の際の事後処理を踏まえ、海外旅行傷害保険への加入につき次のとおり取り纏めました。幸いその後、この様な大規模な事故に巻き込まれた修学旅行団はありませんが、今後も事故が発生しないという保証はありませんので、ご一読してください。

### 1. 海外旅行傷害保険への加入の必要性

外国において日本人が事件・事故に遭った場合は、外務省及び大使館・総領事館が、求めにより、現地当局との連絡等、可能な限りの支援を行います。

他方、医療費、負傷者の移送等の経費については、修学旅行の主催者側が用意し、支払い処理を行う必要があります。このため、万一の場合に備え、十分な保険金額の海外旅行傷害保険に加入することが不可欠ですので、次の2. の留意点を参考に、旅行参加者全員が必ず保険に加入するようにして下さい。

なお、旅行参加者の中で保険加入を希望しない者については、万一の場合に備えて必要に応じ、「自己の意志により保険には加入しない」旨文書で意志表明をして貰う等の措置を講じておくことも一案です。

また、事故後の処理において、必要に応じ、事故の加害者の賠償責任を追求し、加害者に対し経費の請求を行うことは可能ですが、加害者の特定が困難であったり、加害者に支払能力がない等の理由で経費が支払われない場合が多いのが実情です。右観点からも、海外旅行傷害保険に事前に加入することが必要なのです。

### 2. 海外旅行傷害保険加入の留意点

海外旅行傷害保険は、「傷害死亡・後遺障害」と、「傷害治療費用」「疾病治療費用」「疾病死亡」「救援者費用」「賠償責任」「携行品損害」等の担保項目で構成されています。

この中で、外国で疾病または負傷により治療を行う確率は他の項目に比べ比較的高いので、「傷害治療費用」及び「疾病治療費用」の項目につき、万一の事態に十分耐え得る保険金額まで加入することが不可欠です。また、救援チーム派遣に伴う費用も高額なため、「救援者費用」にも加入して、万一に備える必要があります。

具体的には、修学旅行中に大事故に遭遇した場合の主催者の経費負担は、事故直後の救援チーム派遣費用(移送用航空機(チャーター機)運航費 数千万円)、移送のための医療チーム派遣経費(数百万円)、医療費(重傷の場合は1名につき数百万円に上る可能性もある)等、これら経費が保険でカバー出来るように対応する必要があります。